



条幅規定

師範正 村石 節子

運腕大きくダイナミックに筆が奔走しながらも柔軟な筆の俯仰を生かし、変化のある線を多種に取り入れ、重厚な作品に仕上げています。「書は線である」「リズムは心である」

条幅随意

準五段 田中 禮子

軽妙な細い線が作中にスパイスのような役割を演じ、都会的な作風に仕上げています。流れも自然で、適度な疎密と潤渇の変化が音楽を奏でているようである。さらなる精進に期待。

条幅随意(臨書)

成家 阪井 浩子

古典臨書の基本である形臨に徹し、無理なく自然な運筆で、余白も安定し、清澄感の漂う快作です。たゞ筆圧の変化や気脈の貫通など、リズムに抑揚が、これからの課題になるう。



半紙規定

準六段 三井 千鶴

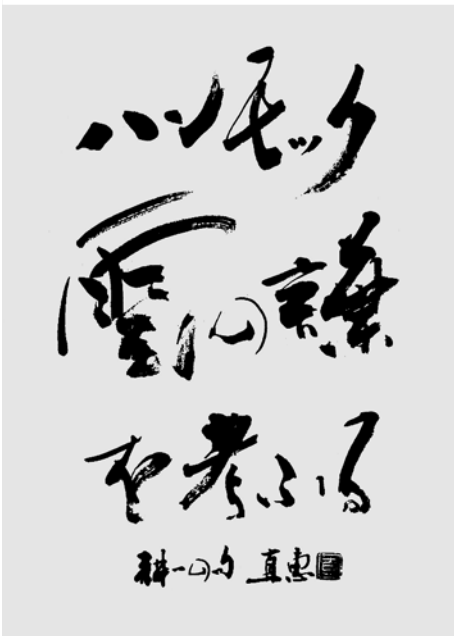
軽快なリズムで、白も美しく、筆の運びに小細工も無く迷わず書き進む姿は非凡さを感じさせてくれます。生命感漂い、気持ちも若い。



半紙随意

師 範徳永 直恵

音楽でも聞いているような自然な運筆で、文字の大小や文字の響き合いもマッチし、現代性豊かな作風である。人生はつねに挑戦である。精進を。



半折1/2縦

成家 足立 和子

独特のリズムで躍動感とスリリングな線に脱帽である。一刻一刻と変化する気持ちとそれに対応する線。失敗を恐れず、過去を振り返らず、つねに前向きな姿勢こそ作家である。



半紙随意(臨書)

師 範正 鳥飼 眞理

若干の線の迷いも感じられるが、細部にわたる形臨へのこだわりは古典修得の第一歩である。ただ、執着は禁。書は形より線の鍛錬が大切。期待している。

六年 田島 未夢
道

優 介
林

ひか
り たつき

川 上 琴 加
すみれ 草

れ す み
草 彩 陽

遥 香
草原

大
亜 希

中二 齋藤 壮
読書

江 口 莉 央
草原

林
実 佳

あゆむ
じ

学生部条幅 (1/4)

中一 四段 川上 琴加

まとまりの良い作品です。名前まで気をぬかずにしっかりと練習ができています。この調子でさらに上の段を目指して下さい。

小一 準8級 永谷 歩夢

うでぜんたいでのびやかにかけています。かたちもよくととのっています。おしゅうじのたのしさがつたわってきますよ。

小二 6級 岩尾 樹希

ていねいなふでづかいで、しっかりとかけています。なまえもりつぱです。このちようしでさらにがんばってください。

小三 準1級 前浜 亜希

力ぶよく、どうどつとした「犬」がかけたね。亜希さんの元気があふれた作品です。名前もしっかりと書いています。

小四 1級 岡田 笑佳

お手本をよく観察し、一点一画ていねいに書いた明るい作品です。名前も元氣よく書いています。今後さらに期待しています。

小四 準2級 立石 優介

ていねいな筆づかいで、形よく書いています。左ハライ・右ハライともにとてもしようずです。これからもがんばってください。

小五 準二級 品川 遥香

広い草原をイメージするようになどどうとした作品です。名前もしっかりと練習ができています。上の段を目指して下さい！

小五 3級 江口 莉央

上位有段者に負けない力を持っています。形よくまとまりのある作品です。今後は、終筆をていねいに書くことさらに良くなります。

小六 準四段 田島 未夢

本文・名前ともにバランスの良いい明るい作品です。今後は、筆に墨をしつかりとふくませてリズムに乗って書きましょう。

中一 準三段 峰 彩陽

お稽古の楽しさが作品にあふれています。線に伸びやかさがあり、今後は楽しんでみです。勉強や部活との両立をがんばってね。

中二 準特待生 齋藤 壮

中二三準特待生行書の流れが自然です。名前までしっかりと書いていて、完成度の高い作品です。特待生「まであと一歩です。期待大！」

硬筆部最優秀作品

(5月末日締切分)

(坂元紫香先生評)

ねこが いっぴぎ
はらっぱ はしる
ねっこ とびこえ
ばったとかけっこ
ひらたゆうしん

話している言葉は同じで
も、声の調子や間の取り方
などによって、聞く人の受
け止め方はちがいます。
吉田 結

あなたが住んでいる地いきに
関連する記事をさがそう。ほ
かの場所や外国のニュースで
も、小学生のことが書かれてい
ると、身近に感じられるね。
福山 千晴

おばあさんは、シャボン玉を吹きなが
ら、カーニバルのテントの建ち並
ぶ辺りでついたり消えたりしてい
る赤や青の電気を見ていました。が
急に振り向いて言いました。
溝上瑛玲奈

わたもの 一つ一
つは、ひろげると
らっかさんのよう
になります。
白石ゆき子

話している言葉は同じで
も、声の調子や間の取り方
などによって、聞く人の受
け止め方はちがいます。
なぶがい美ゆう

なぜわたしたちには不安や後か
いなどの楽しさをそこなうよう
な感情があるのでしょうか。それは
不安や後かいなどの感情も生き
るうえで役に立つからです。
佐藤ひかり

ヤチやのな季節になりました。
学園都市、折尾に転勤して早や三月
そろそろこの地の性格も飲み込めて、気の
おけな友人も出まっ、あります。
人の情もあつ、縁に囲まれ、やー車を
走らせれば、若松北海岸の夕陽が美しく、
とても満足しています。
ゴールデンウィークを利用して、いらーやい
ませんか、お楽しみますよ。
とーあえすは、近況報告まで、敬子

イルカは、魚と同じよう
に水の中でくらししてい
ますが、ときどき水面に
上がっていきをしめます。
伊がら奈お

あなたが住んでいる地いきに
関連する記事をさがそう。ほ
かの場所や外国のニュースで
も、小学生のことが書かれてい
ると、身近に感じられるね。
木林浦美七海

おばあさんは、シャボン玉を吹きなが
ら、カーニバルのテントの建ち並
ぶ辺りでついたり消えたりしてい
る赤や青の電気を見ていました。が
急に振り向いて言いました。
二年 高松 梨奈

堪忍袋の緒を切らす人が増えている。
当節は「キレる」と表記される。メール
や仮想空間の浸透で、友達同士が話
さずに付き合う世界が広がる中で、堪
忍袋の緒が細った社会は生きづらい。
大石 穂奈美

平田 悠晋 小一 5級
おてほんをよく
みて、かたちがよ
くととのつてい
てきれいにかけ
ています。なま
えもりつばです。
これからもきた
いしています。
白石結希子 小二 6級
力のこもった線
で、しつかりと
書いています。
名前も元氣よく
書けましたね。
これからもたく
さんれんしゅう
しましょうね。

吉田 結 小四 三段
漢字と平仮名の
バランスが良く、
むずかしいペン
をじょうずに使
って明るく書け
ています。今後
は、右ハライに
気をつけてね。
永井 美佑 小四 4級
お手本をよく見
て、ていねいに
書いています。
下敷は硬筆用の
少しやわらかい
ものを使うと、ペ
ンが使いやすく
なると思います。

福山 千晴 小五 準8級
気のこもった線
で、形良くてい
ねいに書いてい
ます。準8級
とは思えないほ
どこれからが楽
しみな新人です。
がんばってね!
佐藤ひかり 小六 準四段
お手本をよく観
察して、本文、名
前ともに丁寧い
に書いています。
漢字よりも平仮
名を少し小さく
書くことさらに良
くなります。

溝上瑛玲奈 中学 五段
ペンを上手に使
いきり、明るくすつ
書きとした線で
書いています。
作品に伸びやか
さがあります。
今後、さらに期
待しています。
櫻井 敏子 一般 準師範
丁寧なペン運び
の中に、抑揚の変
化や文字の大小
の変化があり明
るく伸びのある作
品です。今後はさ
らに上への挑戦を
期待しています。
高松 梨奈 中学 特待生
さすが、特待生
です。漢字と
平仮名の balan
スの良い、完成
度の高い明るい
作品です。今後
は一般部へも挑
戦しましょう。